



大泉学園幼稚園
園長 加藤理実子

新年あけましておめでとうございます。冬休み、みなさまにおかれましては、いかがお過ごしでしたでしょうか。ご家族みなさまと楽しく有意義な時間を過ごされたことと存じます。

令和6年辰年の始まりにおいては、石川県地方において、大きな地震が起きてしまい、今も尚、寒さの中、復旧がなかなか思うように進んでいない現状があります。年末年始の家族団らんの中、このような災害が起きてしまい、自然災害の恐ろしさとともに、子ども達の命を守るための災害への備えについて、あらためて考えていかなければと強く感じています。

三学期は、各学年における集大成の時期となります。とくに年長組においては、小学生に向かう最後の3ヶ月となります。進級への楽しみな気持ちと共に、ドキドキするような少し不安な気持ちや一緒に過ごしてきた友達と離れることになる寂しさなど、様々な気持ちが起こり、表面には見えにくい不安定な気持ちが生じることもあります。幼稚園での過ごし方においては、それぞれの子ども達が安心して自分のやりたいことを伝え合いながら、成し遂げることができるよう、友達との関わりを大切に協同して取り組んでいける機会を増やしていきたいと考えています。

お正月明けの1月においては、おもちつきをはじめ、こま回しや凧上げ、かるたづくりやすごろく等日本の伝統文化の体験を大切にしながら、遊びを通した楽しい気持ちの中で、文字や数への関心を高め、どうしたらうまくできるようになるかを、友達と切磋琢磨し合いながら、試行錯誤を通して工夫する力も大切に育てていきたいと考えています。

学年毎には、楽器や歌やリズム活動、また、ごっこ遊びや物語の世界を、より身近に感じながら、自分達で考え、感じながら、創り上げていく体験も、大切に行っていきたいと思っています。

寒い時期ではありますが、寒さに負けず外に出て遊ぶことも大切にしながら、健康第一、風邪等にも負けない体力もつけていきたいと思えます。

今年も良い年になりますように！ 職員一同、あらためまして、どうぞよろしくお願い致します 🌱

